学校法人 内丸学園
盛岡幼稚園
園報

第259号
（12月）
2021

心の育ち・ウェルビーイング

学校法人内丸学園　理事長　坂本　洋

「三つ子の魂百まで」このごろ耳にすることが少ない言葉ですが、幼稚園では、「乳幼児期は生涯の人格形成を培う重要な時」と理解しそれを中心に保育活動をしております。

この時期に、「からだ」も「こころ」も飛躍的に成長し人間としての基礎部分が形成されることが実証され、私達はこのことをしっかり受け止め日々の子ども一人ひとりの育ちを支援することに努めております。

さてこのところ、人としての心の育ちがしっかり育っているか疑問に思われる悲しい事件を多く耳目します。いじめ・虐待・若者の自殺・少年同士の殺害事件等、人間の尊い生命、命の尊厳の理解がどれだけ大切に育てられているか、「こころ」の育ちとしてしっかり成長しているのか。目に見える身体の成長や知識や技能の習得にばかり目を奪われ、本来人間として大事な幼児期の「こころ」の育ちをないがしろにしている結果ではいないか。

私達は、乳幼児の心の発達にかかわり最も重視すべきこととして、・愛着の形成、・人に対する基本的信頼感の獲得、・十分な自己発揮と他者の受容による自己肯定感の獲得等を掲げ、日々の保育活動において、子ども同士の主体的遊びを通じて「こころ」の育ちとして充実されるよう心がけております。

同時に子ども養育の第一義的責任は家庭保護者ですから、ご家庭での日々の暮らしにおいても同様な関わりを行っていただくよう念願し、施設とご家庭が連携協力し、次代を担う子どもの育ちを保証するものと信じております。

私自身、乳幼児期の愛着形成や自己肯定感の獲得の重要性は以前から園報で述べさせていただいていますが、特に愛着形成・アタッチメントは乳幼児期の心の育ちとして最も重視すべきものと考えております。例えば、ご家庭で絵本の読み聞かせが大事であることは理解していても、実際にその時間を確保して読み聞かせられているかが重要で、子どもにとって絵本をいっぱい読んでもらったかばかりではなく、読んでくれる人との心のつながり・絆つくりのひと時として大切にされているかです。

我が子との当時を振り返って、就寝前などの読み聞かせでは、どの絵本を読むかの選択に、「これ読んで」と毎日のように同じ絵本を差し出された経験を思いだし、その子にとって大事な心のつながり、愛着心の形成、安心安全の基地として育まれる時間として大事であったことが懐かしいです。

おりしも、令和の日本型学校教育の構築が話題になっております。これからの世界情勢、急激に変化する時代の中で、子ども達が身に付けなければならない資質や能力は、一人ひとりが自分の良さや可能性を認識すると共に、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働して、持続可能な社会を作ることが出来る人間像が掲げられています。

その根底はウェルビーイング（この言葉が使用されました）人々が幸せ、幸福を充実する養護や教育、まさに幼児期からの心の育ち教育が重視されることです。

『おいしいね♪』

トトロランド、大成功！

Aクラス担任　竹岡　真美

『ドレス着せてあげるね』

毎年恒例のトトロランド。今年はいよいよAクラスが中心となってホールにお店を開く番ということで張り切って準備に取り組みました。その中で、本物らしさにこだわって一点一点丁寧に作っていたり、友達と役割を分担して工夫して作り進めていたり、自分の店の準備が終わると他の店を手伝ってあげたり、お家でも品物を作ってきたりなど、いろいろな姿が見えました。「小さい子はカタカナが読めないから…」とふりがなを振ったり、「小さい子は間違えてビーズを口に入れちゃうかもしれない…」と心配したり、子ども達なりに年下のお客さんのことを考えていたことにも感心しました。

毎日コツコツ頑張って用意したたくさんの品物をお店に並べ、迎えた当日。「いらっしゃいませー！」と大きな声を出し、買いに来てくれたお客さんに「どれがいいですか？」と優しく声を掛けたり、ドレスを着せてあげたりする姿が微笑ましく、どのお店も大盛況で品物は完売！最後には自分達も買い物ができ、満足気な表情の子ども達でした。翌日、トトロランドで買ったスカートやヘアゴムを身につけて登園するCクラスさんがいたのも嬉しく、朝の会の話題になりました。クラスでも、ゲームセンターの装置を使って遊んだり、ヘアゴムや宝石を自分用・家族用に作ったりして、しばらくトトロランドの楽しさは続きました。

みんなで頑張った！トトロランド

Bクラス担任　瀧山　茉保

楽しみにしていたトトロランド。グループで考える機会もあり、成長を感じるところがたくさんありました。

トトロランドでBクラスも品物を売れることを話すと、昨年度のことを思い出しながら「こんなお店にしたい！」とイメージが膨らんでいた子ども達。たくさんのお店を大きく4つのグループに分け、そこからさらに話し合って作るものを決めていきました。「これがやりたい！」という気持ちを先生や友達に伝えながらも、友達の意見に「いい考えだね。」と頷く姿もあり、友達の意見を受け入れようとする姿もありました。品物を決めたら、あとはどんどん作り進めていきます。子ども達のイメージを元に、先生と一緒に作りながら形にしていきます。作りながら、さらにアイディアが浮かんで、子ども達なりの、個性があふれた品物になりました。

『友達と一緒に品物作り♪』

いよいよ、トトロランド当日。子ども達の品物がお店に並びました。「いらっしゃいませ！」とどの子も自信たっぷりに声を出していました。お客さんに優しく接している姿もたくさんありました。品物が売れると大喜び。集まったお買物券を何度も何度も数えて、とびきりの笑顔で私たちに教えてくれました。その表情から、頑張って作ったものが売れた喜びが伝わりました。今後も一緒に楽しみながら支えていきたいと思います。

『これ、ください！』

C1クラス担任　田口　千聖

「ホールにね、たくさんお店ができるんだって♪」と、トトロランドの話をしたところ、「早く行きたい！」と期待が膨らむ子ども達。早速、みんなでウサギ型のお財布を作り、お金の代わりとなるお買い物券を用意しました。

さて、どうやってお買い物をしようか…。「『これ、ください』って言う！」「お買い物券を渡すんだよね。」「買った物は絵本袋に入れなきゃ。」事前にみんなで話し合い、やりとりの練習もしました。

いよいよトトロランドへ出発！

『どれにしようかな…これください！』

にぎやかな雰囲気に少々戸惑いながらも、お誘い上手の店員さん達に引き寄せられ、魅力的なお店へと動き出す子ども達。あっという間に5枚のお買い物券がなくなる子、気に入った品物を何個も買う子、家族へのプレゼントを選んで買う子。お買い物の仕方にもその子らしさが感じられました。

クラスでは大きな声で言えていた「これ、ください！」も、いざとなると難しい…。そんな様子を見て「どれにしますか？」と声をかけてくれた店員さん♪優しくしてもらった思い出が心に刻まれ、次へとつながることでしょう。

トトロランドでの経験はクラスの遊びへと広がり、最近ではお花やお化粧セットを真似して作ってみたり、絵本やごちそうを並べて、お店屋さんごっこを楽しんだりしています。今日はどんなお店が開店するかな♪毎日楽しみです!!

「経験の積み重ね」

いちごクラス担任　千葉　麻由佳

十一月に行われたトトロランド。今年も保育部のいちごクラスがお客さんとして参加しました。子どもたちは、自分で作った財布の中に「おかいもの券」を入れ、お兄さんお姉さんが開くお店屋さんを楽しみにしていました。ホールに入ると、たくさんのお店と「いらっしゃいませ！」の大きな声にワクワクした表情を浮かべていた子どもたち。お買い物が始まると、気になる品物に引き寄せられて買ったり、ドキドキと緊張した様子で担任と一緒にお店を回ったりしていました。魅力的な商品が多く、買い物袋から溢れてしまう子など一人ひとりが大満足の時間を過ごしていました。お家に帰ってからも、買った品物の話をしたり、遊んだりしていた子が多かったようです。

この経験から、普段の遊びの中でも「いらっしゃいませー」とおかいもの券を使ってのやりとりをしながらお店屋さんごっこをする姿が多くなりました。また、先日保育部全体でお店屋さんごっこをしました。トトロランドの時はお客さんとして参加していた子どもたちが、今回はお店屋さんとして品物を準備したり、張り切って大きな声で呼びかけて品物を売ったりしました。経験したことが子どもたちの力になっていると感じ、嬉しく思いました。

『いっぱいあるよ～』

保護者の方から

運動会を終えて

Aクラス　金谷 好瑛（優咲）

昨年までの運動会で見てきた歴代のAクラスは、私から見ても堂々としていて、競技に臨む姿勢も立派で感動したことを覚えています。子供たちも同様に感じ、Aクラスの競技や頑張る姿勢は憧れになっていたと思います。

そしてAクラスとして迎える運動会。当然練習から気合いが入ります。娘も日々練習を楽しみ、張り切っていました。憧れのバルーンへの挑戦を喜んでいました。リレーの練習では、上手くいかず悔しい思いもしたようですが、何度もみんなで練習したと聞きました。

運動会本番は、バルーン、リレーともにAクラスの絆が見えて感動的でした。みんなの笑顔と一生懸命な姿は、頼もしく、より一層輝いていました。

練習から運動会を通して、協力すること、諦めず頑張ることの大切さ、それによって得られる達成感、お互いを応援し讃え合うこと…多くを学べたと思います。練習を積み、葛藤もありながら頑張ったからこそ、気合いと自信に満ちた姿となり、それが堂々とした立派な姿として現れたのだと感じました。貴重な経験となったと思います。

最後に、コロナ禍で多方面へのご配慮をいただきながら、運動会を開催し、子供たちの気持ちを盛り上げていただいた先生方に感謝申し上げます。

「見て見て！」

C2クラス　伊藤　美紗（侑斗）

「侑斗のこれだよ！お花のせたの！」と嬉しそうに私の手を引っ張って教えてくれました。かわいいお猿の顔、かっこいいキラキラな車、カラフルなお花の絵が展示されていて、工夫して作ったところや友達がどんな作品を作ったのか一つ一つ目を輝かせながら教えてくれました。保育部の時は自分や友達の作品にあまり関心がありませんでしたが、Cクラスになり、自分がイメージした物を頑張って作ろう！という想いが伝わり、成長を感じました。作っている時の風景の写真も掲示されていて、毎日ドキドキワクワク、楽しみながら作品展を迎えたんだなぁと感じることが出来ました。

コロナ禍での開催となり、混雑しないよう日時を分けながらでしたが、逆に子どもと話をしながらゆっくりと見ることができ、とても良かったです。また、各クラス素晴らしい作品が並び、教室内に素敵な街が完成していることに感動しました。「美味しそうだねー。これ乗りたいね」と会話が弾みました。開催していただき、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。来年はどんな作品が見れるのか楽しみです。

『ぼく・わたしの、み～つけた！』

編集後記

早いもので今年も残りわずかとなりました。コロナ禍での生活が2年目となった今年度も感染対策を取りながらの保育となりました。

緊急事態宣言とも重なった仁王小学校での運動会は〝ミニ運動会〟に変え、園庭で行いました。日々の生活での成長はもちろんのこと、いろいろな行事での経験はさらに子ども達の成長のきっかけを作っています。年長児はこれまで経験してきたたくさんの力を今までで一番大きな行事である聖誕劇で発揮しようとしています。全園児でイエス様の誕生をお祝いしたいと思います。今年も保護者の皆様にはたくさんのご理解とご協力を頂きましたこと、感謝申し上げます。

学校法人　内丸学園
幼保連携型認定こども園
盛　岡　幼　稚　園
〒〇二〇―〇〇二一
盛岡市中央通一―六―四七
TEL六二二―二三〇一
理事長　坂　本　　洋